



第58回
牛鬼まつり



変わるもの 変わらないもの

うわじま牛鬼まつりは、
和霊大祭に合わせた市民イベントとして
1967年に始まって以来、
毎年、多くの人でにぎわってきました。

しかし、時代の変化とともに、
参加する人、観に来る人、ともに減ってきています。
そんな中でも、変わらないものがあります。

宇和島は、宇和島藩ができて以来、
昔からある伝統や文化を受け継ぎつつ、
新しいものを積極的に取り入れながら、
時間をかけて、独自の発展を遂げてきたまちです。

この祭りも、守るべき伝統や
受け継がなければならぬ思いは
大切に守りつつ、
時代に合わせて内容を見直しながら、
宇和島の夏を盛り上げてきました。

今年もプログラムを変更しての開催でしたが、
今も変わらない「宇和島人の情熱」を
感じられる3日間となりました。



時代は変わっても変わらない情熱



③



⑥



⑨



7月22日(月)から24日(水)の3日間、第58回うわじま牛鬼まつりが開催されました。今年はより多くの人が観覧、参加できるように、プログラムが変更となりました。22日の海上打上花火でスタートし、23日はブラスバンド・トランペット鼓隊コンサート、ガイヤカーニバルと続き、最終24日は子ども牛鬼パレードと親牛鬼パレード、宇和島おどり大会が行われ、盛況のうちに幕引きとなりました。

時代が変わり、環境が変わっても、祭りの熱気や会場に咲く笑顔、関わる人たちの熱い思いは変わらずにありました。これからも、宇和島に灯り続ける情熱の火をみんなで燃やし、誇るべき「豊かな日常」を未来へとつないでいきましょう。

1日目

①

2日目

②

⑤

④

3日目

⑦

⑧

①宇和島湾を舞台に1万発の花火が観客を魅了。昨年からの音楽に合わせた打ち上げに加え、今年は有料観覧席を設置。②今年から会場がきさいや広場に変更となった brassバンド・トランペット鼓隊コンサート。場所が変わっても心を一つにパフォーマンス。③5年ぶりの同日開催となった宇和島闘牛和霊大祭場所。祭りと呼び声会場が熱を帯びる。④今年も変わらず南予太鼓連の演奏がガイヤカーニバルを熱く盛り上げる。⑤⑥前夜祭としての開催から2日目開催となったガイヤカーニバル。今年もダイナミックなダンスで祭りの中盤を彩る。⑦2日目から最終日へと変わった子ども牛鬼パレード。暑さに負けない元気な掛け声で親牛鬼の登場前を盛り上げる。⑧祭りのメインとして変わらず最終日開催となった親牛鬼パレード。17体の牛鬼がまちを練り歩く。⑨2日目から最終日へと変わった宇和島おどり大会。耳なじみの良い宇和島おんどが祭りの最後をしっとりと締めくくる。